

## 秋の叙勲おめでとうございます

(敬称略)

### 瑞宝双光章

元群馬県立がんセンター 看護部長 内田登志子

### 瑞宝单光章

元太田記念病院 看護部長 岩崎かほる  
元障害者支援施設「泉荘」 看護職員 唐沢 孝子

## 群馬県当初予算に対する重点要望事項を群馬県知事へ提出

9月14日、群馬県看護協会と群馬県看護連盟は「平成29年度要望書」を群馬県知事へ提出した。



### 要望事項

1. 地域包括ケアシステム構築について
2. 看護師確保対策としての看護師の量及び質の確保について
3. 行政に働く保健師の充実強化について
4. 看護師等就学資金確保について

## 県・支部役員研修

参加者：58名

日時：9月16日（金）



### 「県・支部役員研修に参加して」

群馬県看護連盟監事 大塚 千子

9月16日（金）早朝8時に群馬県看護教育センターに総勢36人の連盟役員・支部長が集合し、目的地栃木に出発しました。車中では、定例の第5回役員会を行いましたが、加藤幹事長のスムーズな司会で終了し、会場のホテルに到着、栃木県看護連盟の会長・役員・支部長の出迎えを受け、早速合同研修となりました。プログラムに沿って両会長の挨拶で開会、講演は「支部活動について～参議院をどう戦ったか～」を本連盟の森田副会長と栃木県の直井八重子幹事長から日頃の活動と公示後の選挙活動の実際を具体的に話されて暑かった夏の「選挙運動」を思い出して、聞き入りました。共通する活動の悩みも知りました。グループワークは、二つのテーマに分かれて45分間の意見交換、発表で2時間の研修は終りました。交流会はホテル特製のお料理をいただきながら和やかに歓談しました。研修は、今後の連盟活動に意義深い企画でした。

前橋2区支部長 田中佐四郎

今回、群馬県・栃木県看護連盟合同研修会に参加して、大変有意義な研修会を経験させて頂きました。会長挨拶で始まり、参院選の振り返りの講演、グループワークと進みました。グループワークでは、第25回参議院選挙に向けた取り組みと、連盟活動・支部活動の活性化を図るにはどうしたら良いかの2つのテーマでワーキングしました。たかがい議員とふれあう事が少なく、日頃の連盟活動の取り組み方を考えさせられた事。又、18歳の選挙権関連で看護学校の対応に遅れた、と言う意見が印象的でした。又、講演とワーキングの中で、日頃からコミュニケーションを取る事の重要性も学びました。今回、研修会の企画運営頂いた役員の方々に感謝申しあげます。

## 国会見学&JNA見学

日時：10月6日（木）



### 「国会見学に参加して」

済生会前橋病院 外丸富美子

成人になり初めて看護連盟で国会見学の機会をいただき参加しました。小学生の時に国會議事堂の前で記念写真の記憶はありますが、国会内を見学した記憶は全くありません。国會議事堂内をくまなく案内していただき、自民党議員控え室では議員さんからのご挨拶や、普段テレビで見る国会中継の議会中の議員の方々の様子や答弁など、貴重な体験をさせていただきました。議会を身近に感じられる看護連盟の企画だからこそと感じました。是非みなさんも一度参加してみてください。

ほたか病院 桜沢 高史

10月6日に実施された一般会員研修に参加しました。最初に看護協会ビルの見学です。協会ビルは青山通りに面した瀟洒な建物で、3階のJNAプラザでは展示等も行っており、大変興味深く見学しました。本命の国会見学では、予算委員会が開催されており、安倍首相の答弁や群馬県選出の山本一太議員予算委員長を直接見ることができました。また、群馬県選出や看護職代表の議員の方々の話を聞くこともでき、良い看護を提供するには、政治力が重要だということを具体例を持って学ぶことができました。普段体験することのできない大変貴重な体験をした1日でした。

## 関東甲信越ブロック政策セミナー

参加者：49名

日時：10月22日（土）・23日（日）

### 「看護連盟の活動意義は看護学生から」

渋川看護専門学校 鳥山 早苗

今回、看護政策実現に向けた組織強化を目的に、関東甲信越ブロック看護管理等政策セミナーに参加しました。

講義・グループワークを通して看護連盟の活動意義を再認識するとともに、看護を取り巻く諸問題を看護基礎教育に携わる看護教員の立場で考える機会となりました。

18歳選挙権に対応した主権者教育の推進が図られている中、看護専門職を志す学生が「政治参加」することの意味を、看護連盟の活動意義に関連付けながら伝えることが必要であると再確認できました。また、看護学生が、看護学を価値づけ、専門職としての責務を理解するとともに看護の質向上に向けて、よりよい社会づくりに参画することの必要性に気づくことができるよう関わっていきたいと思います。



# 平成28年度都道府県別会議

日時：11月5日（土）

群馬県看護連盟副会長 森田せい子



昨年の11月5日に、日本看護連盟長沢恵美子常任幹事に、ご来県頂き県別会議が行われました。群馬県看護連盟支部長の活動報告を受けて頂き、看護協会との連携の重要性や施設への働きかけ等ご指導を頂きました。大変和やかに県別会議が開催されました。日本看護連盟役員の来県は、群馬県看護連盟の役員の励みになりました。感謝しております。

## 第2回リーダー研修

参加者：130名

日時：11月19日（土）



「第2回リーダー研修に参加して」  
くすの木病院 小田桐みどり

たかがい恵美子先生の「看護と政治のつながりとリーダーの役割について」講演を聞き、その後「現場の声を届けよう」というテーマでグループワークを行いました。

先生の講演の中で、過酷な労働条件の中、意外にも看護職の待遇改善を訴える声はあまりあがってきていないとのご指摘がありました。

それぞれの現場では、様々な問題を抱えて悩んでいます。少しでも悩みが軽減され、現役時代も、そして元気で許されるなら定年後も生き生きと働き続けられるよう、もっと現場の声を力強く届けていかなければならないと認識を新たにしました。

参加者：134名

日時：12月3日（土）



### トップセミナー「看護管理者の役割と課題」

講師：大島敏子先生

「看護管理者トップセミナー」に参加して

わかば病院 小宮美恵子

「赤信号は止まれ」は道路交通法という法律です。私たちは普段から法律に守られ、どっぷりつかりながら生活しているのに、なぜ看護の仕事を守ってきた法や制度に関心が薄いのか、「政治が遠くに見えているではありませんか？」という講師の一言に絶句しました。看護管理者に突き付けられた大きな課題は、ストレスフルな仕事を変え、現場の声を国政に届けられる看護職を育てるということであり、「環境をつくる、人をつくる」ための法律や条例、政令や省令のスペシャリストになるということを再認識させられた研修でした。管理者として襟を正す機会となり看護管理者のバイブルとなる研修でした。

## 支部報告

前橋2区支部 田中佐四郎



さんにして頂きました。講演内容の好評もあり研修会自体も連盟活動の重要性等の感想を聞くことが出来ました。

伊勢崎地区支部 石田 初子



11月12（土）高橋厚子先生をお招きしてフラワーアレンジメントを開催しました。

日頃の多忙な業務での思考を少し休ませて、楽しい研修をと今回の企画に至りました。

39名の参加者がほぼウルトラビギナーズでしたが、講師の方々にサポートしていただき、さまざまな表情のあるブリーザーブドフラワーが完成しました。

これからクリスマスまでの期間それぞれの家庭に彩りを添えてくれるでしょう。

# 施設訪問のお礼

日頃より、大変お世話になっております。

今年度は、参議院選挙において高階恵美子議員の再選に多くの方のご支援を頂き誠にありがとうございました。

さて、今年度はたくさんの施設訪問をさせていただきました。

看護部長様をはじめ、看護職の皆様、コメディカルの方にもお目にかかることができ、快く迎えていただいたことに感謝申し上げます。

施設訪問を10月から開始し、昨年中に60施設（大学・専門学校含）訪問させていただきましたが、今後もお伺いできるよう努力して参りたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

会長・支部長・幹事長



## あなたの入会があなたの問題を解決します

平成28年度会員数  
(1月31日現在)

**4,105名**

**正会員：年会費 8,000円**

本部5,000円 県会費3,000円

**特別会員：年会費 8,000円**

正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方

**賛助会員：年会費 500円**

看護連盟の主旨に賛同いただける方

**学生会員：年会費 無料**

看護連盟の主旨に賛同いただける看護学生

.....申込用紙追加請求やお問合せは下記まで.....

TEL 027-264-1081 FAX 027-264-1082 E-mail:nkr-gunma@lily.ocn.ne.jp

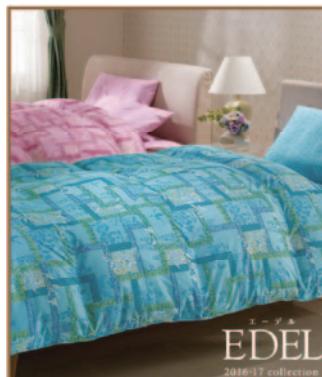
入会はいつでもできます。お待ちしております。

### お詫びと訂正

「連盟だよりぐんま」No.39において、中之条支部長 山本敬子の施設名に誤りがあり訂正してお詫びいたします。

誤：原町赤十字病院

正：群馬リハビリテーション病院



### 編集後記

謹んで新春のお慶び申し上げます。会員の皆様におかれましては、素晴らしい新年を迎えた事とお慶び申し上げます。看護連盟代表国會議員の先生方に本年の幅広い活動計画をお示しいただき大変心強い一年のスタートが切れました。選挙の充電時期として有意義な活動ができる様に引き続きご支援賜ります様にお願い申し上げます。

本年も皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

広報委員： 広報委員会一同・森田